

**製品名: PP2A-B56- $\alpha$  ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab16394**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	57kDa

## 抗原情報

遺伝子名	PPP2R5A
別名	PPP2R5A; Serine/threonine-protein phosphatase 2A 56 kDa regulatory subunit alpha isoform; PP2A B subunit isoform B'-alpha; PP2A B subunit isoform B56-alpha; PP2A B subunit isoform PR61-alpha; PR61alpha; PP2A B subunit isoform R5-alpha
遺伝子 ID	5525.0
SwissProt ID	Q15172
免疫原	抗血清はヒト PPP2R5A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 321-370

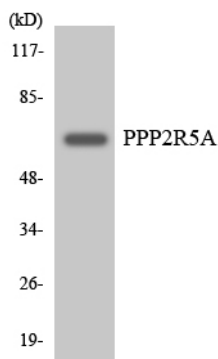
## 背景

この遺伝子産物は、ホスファターゼ 2A 調節サブユニット B ファミリーに属します。タンパク質ホスファターゼ 2A は、4つの主要なセリン/スレオニンホスファターゼの1つであり、細胞増殖および分裂の負の制御に関与しています。共通のヘテロ多量体コア酵素から成り、このコア酵素は触媒サブユニットと定常調節サブユニットから構成され、定常調節サブユニットは様々な調節サブユニットと会合します。B 調節サブユニットは、基質選択性と触媒活性を調節すると考えられます。この遺伝子は、調節サブユニット B56 サブファミリーの  $\alpha$  アイソフォームをコードします。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする代替転写バリエーションが見つかっています。 [RefSeq 提供、2010年12月],機能: B 調節サブユニットは、基質選択性と触媒活性を調節し、触媒酵素の特定の細胞内区画への局在を指示する可能性がある。 ,PTM: セリン残基がリン酸化されている。 ,類似性: ホスファターゼ 2A 調節サブユニット B56 ファミリーに属する。 ,細胞内局在: 有糸分裂前期から中期にかけて、一対の姉妹動原体間の内側セントロメアに局在する。後期開始時に発現が低下する。 ,サブユニット: PP2A は、36 kDa の触媒サブユニット (サブユニット C) と 65 kDa の定常調節サブユニット (PR65 またはサブユニット A) からなる共通のヘテロ二量体コア酵素で構成され、様々な調節サブユニットと会合する。コア二量体に結合するタンパク質には、3つの調節サブユニット B ファミリー (R2/B'/PR55/B55、R3/B''/PR72/PR130/PR59、R5/B'/B56 ファミリー) 、48 kDa の可変調節サブユニット、ウイルスタンパク質、細胞シグナル伝達分子などが含まれる。SGOL1 と相互作用する。 ,組織特異性: 広く発現しており、心臓と骨格筋で最も高い発現を示す。 ,

## 研究分野

卵母細胞減数分裂;WNT;WNT-T 細胞

## 画像データ



PPP2R5A 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。